

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年5月24日 NO.7 (105)

最後まで燃えて輝いた七小魂！ 子供たちの素晴らしい笑顔と感動ありがとう！

七小の子供たちの『みんなで運動会だ！』という思いと、普段の行いの良さを証明するかのように見事に晴れ渡った5月21日（土）。第45回国立第七小学校運動会が無事に行われました。子供たちの熱い演技や競技に対し、多くの保護者・地域の皆様から温かいご声援をいただき、本当にありがとう ございました。心より感謝申し上げます。

昨年度より春の実施となり、入学間もない1年生やそれぞれ進級した学年で初めて取り組む大きな学校行事でありましたが、子供たちは皆、真剣に練習に励み本番を迎えることができました。当日は、それまでの練習の成果を存分に発揮し、最後まで燃えて輝いた七小の子供たち。一人一人の顔がとってもよい表情で、笑顔いっぱい、無事故で大成功の素晴らしい感動の運動会でありました。様々な場面でたくさんの頑張りを見せてくれた子供たちに、大きな大きな拍手を送りたいと思います。

第七小学校の運動会の特色は、紅白対抗の白熱した競技とみんなで心を合わせての応援やすばらしい表現活動のオンパレード。それぞれの得点板の移り変わりに一喜一憂しながらも、力みなぎる頑張りを見せる所で見せてくれました。白熱したドラマは子供たちが演じ、一人一人が各場面で主役を立派に務めていたと感じています。互いに競い合うことは、いつも以上にそれぞれの力を倍加させ高める醍醐味があり、運動会という学習活動の大きな見せ場でもあります。児童席から自然にわきあがる応援の嵐・嵐・嵐。勝利に向かって、子供たちの心が一つとなりました。キラキラぼんぼんとかわいいポーズで笑顔満点だった低学年の『来たで七小！ええじゃないか』、強く激しくしなやかな演舞だった中学年の『七小ソーラン 2016』、新たな組体操へと革新的な団体美の表現を見せてくれた高学年の『結～YUI～』などなど、最後まで燃えて輝き七小魂を見せてくれた運動会でありました。

運動会は、子供たちを大きく成長させる教育の場です。体力向上はもちろんのこと、他とのかかわりの中で、友達を思いやること、協力して一つのことをやりとげること等の大切さを、自らの体験を通して子供たちは学びます。そして、何よりも自分の中に課題を見出し、それに向かって挑戦・努力し、成就感や成功感を味わうことのできる貴重な体験学習の場でもあると思います。

これからも子供たちの確かな学力の伸長と心と体の健やかな成長を願い、安心・安全の学校づくりをめざし、国立第七小学校の教育活動の充実に向けて教職員が力を合わせて参ります。保護者・地域の皆様のさらなるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

来たで七小！ええじゃないか



七小ソーラン 2016



結～YUI～

